

# 2017.1 まちの誇り ぶち★まら ぎらい

## 下関観光ガイドの会

観光客や市民の皆さんを無料で案内しています。

### しっかり勉強、楽しくガイド

下関観光ガイドの会は、昭和61年5月に「長府観光ガイドの会」として17人のメンバーで発足しました。現在の会員数は29人で、男女ほぼ同数です。現役時代は会社員、銀行員、教師、看護師など、さまざまな分野の仕事を経験した個性豊かなメンバーで構成されています。

下関観光コンベンション協会を通じて年間500件程度の依頼があり、会員で分担して主に市外からの観光客を案内しています。

活動の7割は長府地区で、城下町の街並みや歴史博物館などの施設を案内しています。坂本龍馬に関するガイドでは唐戸地区、高杉晋作や白石正一郎に関するガイドでは桜山神社などの下関駅周辺地区や吉田地区のコースなども案内しています。

ガイドは原則有料ですが、市主催のウォーキングイベントや、秋の行楽シーズンの長府地区では、

ているほか、毎月1回全員が集まって、研修や情報交換などの会合を行っています。

### 恵まれた観光資源を活用して観光客に感動を

NHK大河ドラマの舞台として登場することも多い下関は、県内他市の観光ガイドの方から「下関には観光資源が豊富にあるからいいですね」とうらやましがられるほど。「それらの観光資源をわれわれがいかに活用して、観光客に感動を与えるかが大切」と井上会長。

平成30年の明治維新150年に向け、全国のJRグループ6社と地方自治体、観光事業者などがタッグを組んで行う「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」が今年の9月から12月にかけて予定され、同会でも受け入れ準備を着々と進めています。

個性的で魅力的な会員の皆さんの活躍がますます期待されます。

観光ガイドに関する問い合わせ、ガイドの依頼は下関観光コンベンション協会(☎23-1144)へ



下関観光ガイドの会の皆さん。前列中央が井上会長



そるいの上着で観光客に説明するガイド(功山寺)



月1回行われる会合では熱心に情報交換が行われ、次のガイドに生かされています